



前回の特集「豊かな学びをつなぐ」に対して市民34人から88件の意見をいただきました。代表的なものをご紹介します。

(1) 宇都宮市の小中一貫教育について何を期待しますか？

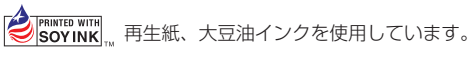
- 年齢差のある多様な集団で学習することについて期待が大きい。(鶴田町 80代)
- 義務教育では小中一貫教育の方が児童や生徒に対する指導が徹底して良い。小・中学校時代にあいさつや礼儀作法をはじめ、将来の人間形成に対しての徳育を身につける教育が必要である。(陽南3丁目 70代)
- 心身の発達の違いをうまく生かし、仲間作り、リーダーの育成などの活動を通して心豊かな子どもの育成を期待する。(宝木町1丁目 60代)
- 生まれ育った地に愛着や誇りを持てるような人を育てるとともに、社会のルールや常識を基本とする教育を望む。(40代)
- 9年間の系統性を意識した学習指導を期待する。小学4・5年生でつまずきが始まっており、それに対する素早い対応を望む。(40代)
- 学力向上だけでなく、人間形成のためのあいさつや基本的な規則正しい生活に対する教育を望む。(宿郷5丁目 30代)
- 学習の内容の系統性を意識することにより、その単元が得意な子どもには発展的な問題を、苦手な子どもには、基本的な問題を与えるよう、きめ細かな対応が欲しい。(陽東7丁目 30代)

(2) 宇都宮市の小中一貫教育を実現するために、どのような支援や協力が必要だと思いますか？

- 教員も保護者も、子どもをいつも見守り、気遣い、向上させるよう、定期的な交流の場を設け、支援していただらよい。(泉が丘4丁目 70代)
- 参加型の地域ぐるみの行事(歩け歩け大会、かるた大会など)に、子どものいる家庭だけでなく、夫婦も、高齢者家族も全員参加できるとよい。(40代)
- 教員と保護者がディスカッションし、実現に向けて計画的な教育活動が必要である。(上戸祭3丁目 40代)
- 保護者への十分な説明が必要である。モデル地域での先行実施で見えた問題点や不具合については速やかに対応して改善してほしい。制度が変わると現場の教師の負担は相当なものになると思われる。(雀の宮2丁目 40代)
- 小学校では補助教員の増員、中学校ではそれに加え、習熟度別のクラスをプラスにとらえて、広く取り入れて欲しい。(40代)
- 9年間を通して、何か1つ目標を立て、達成させるようなプログラムの作成。(宿郷5丁目 30代)
- PTAや地域の人が授業のティーチング、アシスタントをする。(陽東7丁目 30代)
- 教師と子ども、地域と子どもとあるが、まずは、土台を作るために「親と子のコミュニケーション」を具体的に考えていくとより良く実践できると思う。(宮の内1丁目 20代)

広報うつのみや特集号は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年4回発行します。また、毎月1日発行の通常号の次回(4月号)は、4月1日配布です。

広報うつのみや 特集号はホームページでも見られます。
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>



前回の特集「豊かな学びをつなぐ」の概要



宇都宮市の教育の現状

本市では、心豊かでたくましい宮っ子をはぐくむために、「うつのみや教育改革」に取り組み、また、「学校教育スタンダード」に基づいた学校教育を展開することにより、心豊かでたくましい宮っ子の育成を目指している。このような中、学年が進むにつれて、友人関係や学習に悩む子どもの数が増えるなどの問題も出てきた。今、学校には、このような問題に対応しながら、子どもが確実に学力を身に付けることが求められている。そのため、市では、これまでの教育に加え、小・中学校の一体的な教育を目指し、学校教育の仕組みを見直すことが必要になってきた。

宇都宮市の小中一貫教育の取り組み

本市の小中一貫教育では、学習・学校・先生のそれぞれが変わる。まず、学習面での変化は、4・3・2制や会話科の導入、小・中学校の相互乗り入れ授業の実施、地域学校園の設置などである。次に、学校については、子どもたちが楽しく登校でき、また、保護者の相談などに答えるような、人との触れ合いが多い学校となる。さらに、先生については、義務教育9年間の子どもの発達に関して一層理解を深め、教師力を高めていく。今後、モデル地域での先行実施後、平成24年度からすべての市立小・中学校で小中一貫教育を実施する。

郵便はがき

料金受取人払

3 2 0 8 7 4 0

宇都宮中央局
承認
3017

差出有効期間
平成22年7月
14日まで
【切手不要】

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行

3 2 0 8 7 4 0 3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。